

シルバー高島

発行／公益社団法人高島市シルバー人材センター広報部会 滋賀県高島市勝野 215 TEL(0740)36-8191 FAX(0740)36-8010

シルバー子育て支援フェスティバル

輪投げ、水鉄砲、こま回し…長浜で盛大に開催

11月9日(土)、長浜市「豊公園」で県内各センター参加の下、平成25年度シルバー子育て支援フェスティバルが盛大に行なわれました。

長浜城を間近に望む会場は、多くの子供連れの家族で朝から大変にぎわいました。

当センターからは、役職員・会員合わせて33名が参加し、綿菓子・ポン菓子・しょいめしの販売と、子供たちと昔あそびをしてふれあいま

した。

折り紙や、牛乳パック利用のジャンプヘビ作り、そしてゆび編みで作るシュシュ(髪どめ)は、お母さん方にも大人気でした。

また、芝生を利用した竹馬・竹とんぼ・竹鉄砲・竹のぶんぶんごま・輪投げなどの遊びも大好評で、丁寧に作られたおもちゃと一緒に遊び、楽しいひと時を過ごすことができました。

昔懐かしい竹の水鉄砲
誰が一番飛ばかな?



高島からも33人参加
「昔あそび」が大人気
(2面にも写真があります)

簡単だけどなかなか入らない輪投げ
よし! 今度こそ!



ぶんぶんごまを回すには、
タイミングが大事なんや



入会後間もなくマキノ町の水道検針を紹介され、今日まで続けてきました。引越して間もなくの話であったため、当初は地図を片手に奮闘しました。地図が不要になるにつれ、街並みが見えるようになり、今では地域の方々にも顔を覚えて頂き、やっと溶け込めたと喜んでいきます。

これまでには様々な経験がありました。例えば、施設された塀を乗り越えての別荘敷地への進入(侵入?)は日常茶飯事。次は積雪との戦い! 在原地区では用意したスコップなど全く受け付けない雪景色に呆然として、夏は検針に先立つ草刈りなど。また、メーターのボックスがスズメバチの巣に化けていたこともありました。とはいえ、毎回いづれかの検針先で発生する漏水に立ち会った時、検針員は水道料金の徴収のためだけでなく、水道のメンテナンスにも参加して地域のお役に立っている

と感じ、これを励みに頑張っているこの頃です。

私は現役時代、公務に従事して世間知らず、また知らなくても渡っていったのであるが、年金生活で毎日ぶらぶら、ふとシルバーで昔造園学校で習った技術を活かせる部門があると聞き、入会しました。

剪定仲間と知り合い毎日活々、仕事の合間には私の知らない世界、ヘー、そんな事、あんな事、また地域の事々々聞かされ、今更ながら世間に無知だったと恥ずかしい限り。本当に良い仲間が出来て毎日毎日が楽しく、シルバーに入会したお蔭だと感謝。仕事を通じて施主さんとの交流も出来、シルバー様々です。

私が何時も心に刻んでいる歌は「ものふは名惜し立つべし後の世にひき継ぐ者に語りつくかね」この歌に負けないよう仲間と共に仕事に従事したい。

私の就業体験



と感謝、これを励みに頑張っているこの頃です。

マキノ 石飛 正巳

新旭 植木 剪定

新旭 改藤 大海

「昔あそび」で楽しいふれあい

オープニングは、園児のかわいいマーチングでした



ゆひ編みは、ゆひで糸をつまんでほら簡単にできるよ!



綿菓子ほちびつ子に大人気です



牛乳パックでも遊べるんやで一緒にジャンプヘビ作ろうか

平成 25・26 年度 滋賀県安全就業標語 決定!!

県内応募作品 303 点の中から 6 点が選ばれ、高島の側島道之助会員の作品が佳作に入賞しました。おめでとうございます。

「チョットまで それでいいのか 再確認」

また、最優秀賞は東近江市シルバー会員・富田文雄さんの作品でした。

「事故も無く 働く喜び いつまでも」

会員数

平成 25 年 10 月 25 日現在 () 内はプラチナ

地区名	男	女	合計
安曇川	68 (7)	43 (0)	111 (7)
マキノ	75 (2)	10 (0)	85 (2)
今津	90 (7)	18 (0)	108 (7)
朽木	19 (4)	14 (2)	33 (6)
高島	56 (4)	31 (5)	87 (9)
新旭	82 (7)	43 (8)	125 (15)
合計	390 (31)	159 (15)	549 (46)

新入会員のお知らせ

平成 25 年 10 月 25 日までの入会者 24 名

- 【安曇川】澤井鉄次、西澤政夫、井上信次郎、横井静乃、木村孝司、饗庭照彦
- 【マキノ】大神敏昭
- 【今津】北林繁、上原繁次、山本博巳、楠正俊、桂田覚、市川一、森本壽郎
- 【高島】万木登志子
- 【新旭】仲道馬雄、小仲昌雄、西村貞子、川崎和安、林吉輝、松井正司、増田孝次、柴田敏、大江喜代美

マキノ 大神 敏昭

新旭 小仲 昌雄

今年の夏、我が家の隣人の庭にシルバーの方々3名、草刈りの仕事に來られました。その中の一人と短い挨拶を交わし、「私も昨年退職し、来年春からシルバーの仕事させて頂くとう考えているんです」と返事をしたところ、「楽しいですよ。来年からと言わず、すぐにでも入会されたいかがですか」とおっしゃったのです。

一期一会、それがきっかけでシルバー会員として正式に登録。最近までピッ克蘭

新風 新入会員より

この度、シルバーの会員としてご承認頂き、誠にありがとうございます。皆様方の仲間入りをさせて頂きますことを、大変うれしく思っております。

今年3月まで20年あまり、児童福祉施設の運営に携わってまいりました。その中でも児童虐待の対応では、大変厳しい局面を迎えたことが何度ありました。しかし、子ども達から元気をもらい、72歳まで無事勤められ、子ども達に感謝致しております。

退職後は、京都から両親の故郷でもあります高島市に引越してまいりました。先輩会員の皆様とのコミュニケーションをはかりながら、地域の皆様との連携をはかりながら、地域に根差した活動をしてまいり、私の強い思いであります「生涯現役」を貫き、介護保険のお世話になることなく全うしたいと願っております。

よろしくお願い致します。



俳句

小旅行 健康な時と 夢描く
 我が部落 災害のがれ 日々感謝
 西日背に 間引き女は 輝いて

新旭 鞍田 作枝

ホットする 息子や娘 ニコニコ顔
 孫を見て ふと思ひ出す 若き頃
 行きはよいが 帰り気になる 湖西線

高島 伊丹 孝子

私の作品紹介



「琵琶湖の朝明け」(上)

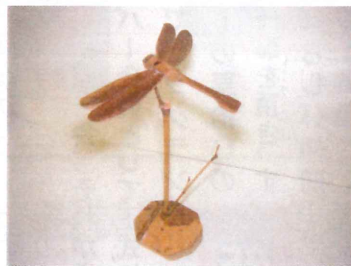
「錦秋の谷間のオアシス」(右)

高島 山田 祐市



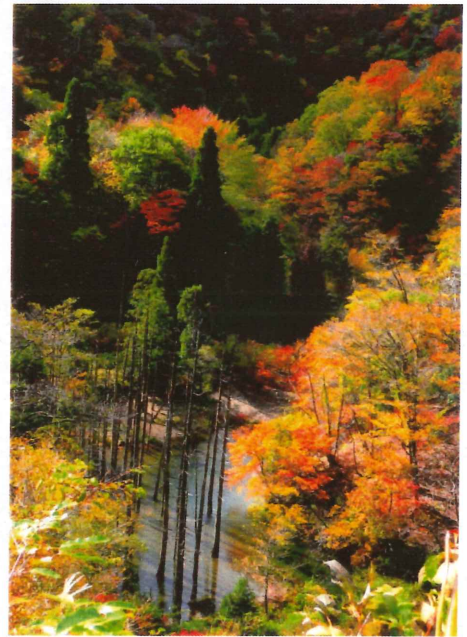
「畦に咲く白い彼岸花」

(シルバー人材センター裏にて)



「竹細工」

安曇川 恸田 年文



原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なんでも結構です。「広報委員・連絡所・本部」へお届け下さい。

編集後記

昔の事を少しお話させてもらいます。戦争を経験した私は、小学校3年生の時から勉強はあまりしていません。兵隊に行かれて女手一つで田んぼをしておられるお家のお手伝いに、田刈りや草取りに学校から皆で行きました。B29が飛んで来て、私達をおどそうと下降して来たこともありました。

私の家は農業をしていたのでお米はありましたが、都会の人がお米を買いに来て、警察に見つからないように、お腹に巻いて持って帰られたこともありました。

母の着物でモンペや洋服をこしらえてもらい、破れると皆つぎつぎの物を着ていました。今みたいなきれいな洋服なんてありませんでした。

苦労してきた私達は、年金を頂き、若い者にお世話になり、ありがたいと思っております。私は今、本当に幸せです。

広報部会